

# サーバー設定仕様書自動生成サービス 『SSD-assistance』 【生成サンプル】

---

## 1.本サンプルについて

---

本サンプルは、サーバー設定仕様書自動生成サービス『SSD-assistance』を使用して生成された編集可能な Microsoft Excel (.xlsx) 形式のファイルを、PDF化したものです。  
実際に生成される設定仕様書は非常に情報量が多いため、繰り返しの部分などを一部省略しておりますが、出力される項目については全てご確認いただける内容となっております。

## 2.サーバー設定仕様書自動生成サービス 『SSD-assistance』とは

---

セイ・テクノロジーズでは設定仕様書(パラメーターシート)を自動で作成するサービス『SSD-assistance』を提供しております。

[詳しくはこちらをクリックしてください](#)

## 3.お問い合わせ

---

SSD-assistanceに関するお問い合わせは、お気軽に以下のお問い合わせフォームからご連絡ください。

[詳しくはこちらをクリックしてください](#)

# Amazon Web Services 設定仕様書

## 仕様書商事 様

リージョン	ap-northeast-x Asia Pacific (Tokyo)
作成日	20YY年MM月DD日
作成者	セイ・テクノロジーズ

セイ・テクノロジーズ株式会社

(住所)

### 改訂履歷

## 1. EC2 インスタンス

---

Amazon EC2 インスタンスごとに、主要な設定、アタッチしているネットワークインターフェイスやEBS ボリュームの設定を記載しています。

## 2. VPC

---

Amazon VPC ごとに、主要な設定、フローログやタグを記載しています。

## 3. サブネット

---

Amazon VPC のサブネットごとに、主要な設定、フローログやタグを記載しています。

## 4. ルートテーブル

---

Amazon VPC のルートテーブルごとに、主要な設定、サブネットやインターネットゲートウェイ、または仮想プライベートゲートウェイとの関連付け、タグを記載しています。

## 5. ネットワーク ACL

---

Amazon VPC のネットワーク ACL ごとに、インバウンドルールとアウトバウンドルール、サブネットの関連付け、タグを記載しています。

## 6. セキュリティグループ

---

Amazon VPC のセキュリティグループごとに、インバウンドルールとアウトバウンドルール、タグを記載しています。

## 7. S3 バケット

---

Amazon S3のバケットごとに、主要な設定、アクセス許可や管理設定を記載しています。

### ◆商標

Amazon Web Services、AWS、Amazon EC2、Amazon S3 およびその他の AWS 商標は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
その他の会社名または製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

1. EC2 インスタンス

Amazon EC2 インスタンスごとの詳細な設定を記載しています。

No. 1 i-xxxxxxxxxxxxxxxxxx	
Name	SAY-TECH-SV01
インスタンス ID	i-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
インスタンスの状態	stopped
インスタンスタイプ	t2.micro
IAM ロール	
プラットフォームの詳細	Windows
起動時刻	20YY/MM/DD hh:mm:ss
キーペア名	Say-tech-key
カーネル ID	
RAM ディスク ID	
AMI ID	ami-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
アーキテクチャ	x86_64
停止 - 休止動作	False
状態遷移の理由	User initiated (20YY/MM/DD hh:mm:ss GMT)
状態遷移メッセージ	Client.UserInitiatedShutdown: User initiated shutdown
所有者	XXXXXXXXXXXX
ブートモード	
モニタリング	disabled
インスタンスの自動復旧	default
AMI 起動インデックス	0
使用オペレーション	RunInstances:XXX
インスタンスメタデータのタグを許可する	disabled
終了保護	False
停止保護	False
シャットダウン動作	stop
ユーザーデータ	<script> echo Current date and time echo %DATE% %TIME% </script>

ホストとプレースメントグループ	
ホスト ID	
ホストリソースグループ名	
予約	r-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
アフィニティ	
テナンシー	default
パーティション番号	
プレースメントグループ	
仮想化タイプ	hvm
vCPU の数	1

キャパシティの予約	
キャパシティの予約 ID	
キャパシティの予約の設定	open

ネットワーキング	
VPC ID	vpc-xxxxxxx
サブネット ID	subnet-xxxxxxx
アベイラビリティゾーン	ap-northeast-xa
ホスト名のタイプ	
RBN DNS ホスト名 IPv4 に応答	False
RBN DNS ホスト名 IPv6 に応答	False

ネットワークインターフェイス	
このインスタンスにアタッチしたネットワークインターフェイスです。	

No. 1 eni-xxxxxxxxxxxxxxxxxx	
インターフェイス ID	eni-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
説明	

インターフェイスタイプ	Elastic Network Interface
MAC アドレス	xx:xx:xx:xx:xx:xx
IPv4 プレフィックス委任	
IPv6 プレフィックス委任	
パブリック IPv4 アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
パブリック IPv4 DNS	ec2-xxx.xxx.xxx.xxx.ap-northeast-x.compute.amazonaws.com
プライベート IPv4 アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
プライベート IPv4 DNS	ip-xxx.xxx.xxx.xxx.ap-northeast-x.compute.internal
IPv6 アドレス	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
サブネット ID	subnet-xxxxxxx
セキュリティグループ	sg-xxxxxxxxxxxxxxxxxxx (xxxxx)
送信元/送信先チェック	True

ルートデバイスの詳細	
ルートデバイス名	/dev/sda1
ルートデバイスタイプ	ebs
EBS 最適化	False

ブロックデバイス

このインスタンスにブロックデバイスとしてアタッチしたEBS ボリュームを次に示します。

No. 1 /dev/sda1	
デバイス名	/dev/sda1
終了時に削除	True
ボリューム ID	vol-xxxxxxxxxxxxxxxxxxx
サイズ	60 GiB
タイプ	gp2
IOPS	180
スループット	
暗号化	False
KMS キー ID	
スナップショット	snap-xxxxxxxxxxxxxxxxxxx
アベイラビリティゾーン	ap-northeast-xx
マルチアタッチ有効	False

タグ		
No.	Key	Value
1	Name	SAY-TECH-SV01
2	ホスト名	SAY-TECH-SV01
3	OS	Windows2022

2. VPC

Amazon VPC の設定を VPC ID 昇順に記載しています。

No. 1 vpc-xxxxxxxxxxxxxxxxxx	
VPC ID	vpc-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
Name	ssda-say-vpc
状態	available
テナンシー	default
デフォルト VPC	False
所有者 ID	XXXXXXXXXXXX
DHCP オプションセット	dopt-xxxxxxx
DNS ホスト名 有効化	True
DNS 解決	True

IPv4 CIDR		
No.	CIDR	ステータス
1	xxx.xxx.xxx.xx/xx	associated
2	xxx.xxx.xxx.xx/xx	associated

IPv6 CIDR			
No.	CIDR (ネットワークボーダーグループ)	プール	ステータス
1	xxxx:xxxx:xxx:xxx::/xx (ap-northeast-x)	Amazon	associated
2	xxxx:xxxx:xxx:xxx::/xx (ap-northeast-x)	Amazon	associated

タグ		
No.	Key	Value
1	Name	ssda-say-vpc

フローログ

このVPCで作成されたフローログをフローログ ID 昇順に記載しています。

No. 1 fl-xxxxxxxxxxxxxxxxxx			
フローログ ID	fl-xxxxxxxxxxxxxxxxxx		
状態	ACTIVE		
トラフィックのタイプ	REJECT		
最大集約間隔 (秒)	60		
送信先タイプ	s3		
送信先 ARN	arn:aws:s3:::Say-ssda-flowlogs-bucket		
送信先ロググループ			
IAM ロール ARN			
ログレコード形式	{version} {account-id} {interface-id} {srcaddr} {dstaddr} {srcport} {dstport} {protocol} {packets} {bytes} {start} {end} {action} {log-status}		
ログファイル形式	plain-text		
Hive 互換 S3 プレフィックス 有効化	False		
時間別にログをパーティション分割	24 時間ごと		
タグ	No.	Key	Value
	1	Name	Say-flow-log-03
	2	Say-flow-log-03-Key	Say-flow-log-03-Value

No. 2 fl-xxxxxxxxxxxxxxxxxx	
フローログ ID	fl-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
状態	ACTIVE
トラフィックのタイプ	ACCEPT
最大集約間隔 (秒)	600
送信先タイプ	s3
送信先 ARN	arn:aws:s3:::Say-ssda-flowlogs-bucket
送信先ロググループ	
IAM ロール ARN	
ログレコード形式	{version} {account-id} {interface-id} {srcaddr} {dstaddr} {srcport} {dstport} {protocol} {packets} {bytes} {start} {end} {action} {log-status}
ログファイル形式	parquet
Hive 互換 S3 プレフィックス 有効化	True

時間別にログをパーティション分割	1 時間ごと		
タグ	No.	Key	Value
	1		



3. サブネット

Amazon VPC サブネットの設定をサブネット ID 昇順に記載しています。

No. 1 subnet-xxxxxxxxxxxxxxxxxx	
サブネット ID	subnet-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
Name	Say-subnet-01
状態	available
サブネット ARN	arn:aws:ec2:ap-northeast-x:XXXXXXXXXXXX:subnet/subnet-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
デフォルトのサブネット	False
VPC ID	vpc-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
IPv4 CIDR	xxx.xxx.xxx.xxx/xx
利用可能なIPv4 アドレス数	xx
IPv6 CIDR	xxxx:xxxx:xxx:xxxx::/xx
アベイラビリティゾーン	ap-northeast-xx
アベイラビリティゾーン ID	apnex-azx
パブリック IPv4 アドレスを自動割り当て	False
お客様が所有する IPv4 アドレスを自動割り当て	False
お客様が所有する IPv4 プール	
IPv6 アドレスを自動割り当て	False
所有者 ID	XXXXXXXXXXXX
Outpost ARN	
IPv6 のみ	False
ホスト名のタイプ	ip-name
リソース名 DNS A レコード	False
リソース名 DNS AAAA レコード	False
DNS64	True
ルートテーブル ID	rtb-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
ネットワーク ACL ID	acl-xxxxxxxxxxxxxxxxxx

タグ		
No.	Key	Value
1	Say-Key-02	Say-Value-02
2	Name	Say-subnet-01
3	Say-Key-01	Say-Value-01

フローログ		
このサブネットで作成されたフローログをフローログ ID 昇順に記載しています。		

No. 1 fl-xxxxxxxxxxxxxxxxxx			
フローログ ID	fl-xxxxxxxxxxxxxxxxxx		
状態	ACTIVE		
トラフィックのタイプ	REJECT		
最大集約間隔 (秒)	600		
送信先タイプ	s3		
送信先 ARN	arn:aws:s3:::Say-ssda-flowlogs-bucket		
送信先ロググループ			
IAM ロール ARN			
ログレコード形式	\${version} \${account-id} \${interface-id} \${srcaddr} \${dstaddr} \${srcport} \${dstport} \${protocol} \${packets} \${bytes} \${start} \${end} \${action} \${log-status}		
ログファイル形式	plain-text		
Hive 互換 S3 プレフィックス 有効化	True		
時間別にログをパーティション分割	1 時間ごと		
タグ	No.	Key	Value
	1	Say-Key-02	Say-Value-02
	2	Name	Say-subnet-flowlog-02
	3	Say-Key-01	Say-Value-01

No. 2 fl-xxxxxxxxxxxxxxxxxx	
フローログ ID	fl-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
状態	ACTIVE
トラフィックのタイプ	REJECT
最大集約間隔 (秒)	600

送信先タイプ	kinesis-data-firehose		
送信先 ARN	arn:aws:firehose:ap-northeast-x:XXXXXXXXXXXX:deliverystream/KDS-S3-tLBya		
送信先ロググループ			
IAM ロール ARN			
ログレコード形式	{version} {account-id} {interface-id} {srcaddr} {dstaddr} {srcport} {dstport} {protocol} {packets} {bytes} {start} {end} {action} {log-status}		
ログファイル形式			
Hive 互換 S3 プレフィックス 有効化			
時間別にログをパーティション分割			
タグ	No.	Key	Value
	1		

IPv4 CIDR の予約

No.	CIDR 予約 ID	CIDR	予約タイプ
1	scr-xxxxxxxxxxxxxxxxxx	xxx.xxx.xxx.xxx/xx	explicit
2	scr-xxxxxxxxxxxxxxxxxx	xxx.xxx.xxx.xxx/xx	prefix

IPv6 CIDR の予約

No.	CIDR 予約 ID	CIDR	予約タイプ
1	scr-xxxxxxxxxxxxxxxxxx	xxxx:xxxx:xxx:xxxx::/xx	explicit
2	scr-xxxxxxxxxxxxxxxxxx	xxxx:xxxx:xxx:xxxx::/xx	prefix

4. ルートテーブル

Amazon VPC ルートテーブルの設定を ルートテーブル ID 昇順に記載しています。

No. 1 rtb-xxxxxxxxxxxxxxxxxx	
ルートテーブル ID	rtb-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
Name	ssda-say-route-table-public
VPC ID	vpc-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
所有者 ID	XXXXXXXXXXXX
メイン	False

ルート			
No.	送信先	ターゲット (ゲートウェイ ID)	ステータス
1	xxx.xxx.xxx.xx/xx	local	active
2	xxx.xxx.xxx.xx/xx	local	active
3	xxx.xxx.xxx.xx/xx	igw-xxxxxxxxxxxxxxxxxx	active
4	xxxx:xxxx:xxx:xxxx::/xx	local	active
5	xxxx:xxxx:xxx:xxxx::/xx	local	active

サブネットの関連付け - 選択されたサブネット	
No.	サブネット ID
1	subnet-xxxxxxxxxxxxxxxxxx
2	subnet-xxxxxxxxxxxxxxxxxx

Edge の関連付け	
No.	ゲートウェイ ID
1	

ルート伝番	
No.	仮想プライベートゲートウェイ (伝番が有効)
1	

タグ		
No.	Key	Value
1	Name	ssda-say-route-table-public

5. ネットワーク ACL

Amazon VPC ネットワーク ACLの設定をネットワーク ACL ID 昇順に記載しています。

No. 3 acl-xxxxxxxxxxxxxxxx	
ネットワーク ACL ID	acl-xxxxxxxxxxxxxxxx
Name	
デフォルト	True
VPC ID	vpc-xxxxxxxxxxxxxxxx
所有者 ID	XXXXXXXXXXXX

インバウンドルール				
ルール番号	プロトコル	ポート範囲 / ICMP タイプ - コード	送信元	許可/拒否
1	ICMP (1)	8(エコー要求)	xxx.xxx.xxx.xxx/xx	allow
2	IPv6-ICMP (58)	すべて	xxx.xxx.xxx.xxx/xx	allow
3	ICMP (1)	3(送信先に到達できません) - すべて	xxx.xxx.xxx.xxx/xx	allow
4	ICMP (1)	3(送信先に到達できません) - 13 (管理者により禁止された通信)	xxx.xxx.xxx.xxx/xx	deny
100	すべて		xxx.xxx.xxx.xxx/xx	allow
101	TCP (6)	0	xxx.xxx.xxx.xxx/xx	allow
*	すべて		xxx.xxx.xxx.xxx/xx	deny
*	すべて		::/x	deny

アウトバウンドルール				
ルール番号	プロトコル	ポート範囲 / ICMP タイプ - コード	送信先	許可/拒否
100	すべて		xxx.xxx.xxx.xxx/xx	allow
101	すべて		::/x	allow
*	すべて		xxx.xxx.xxx.xxx/xx	deny
*	すべて		::/x	deny

サブネットの関連付け - 選択されたサブネット	
No.	サブネット ID
1	subnet-xxxxxxxxxxxxxxxx
2	subnet-xxxxxxxxxxxxxxxx
3	subnet-xxxxxxxxxxxxxxxx
4	subnet-xxxxxxxxxxxxxxxx

タグ		
No.	Key	Value
1		

6. セキュリティグループ

Amazon VPC セキュリティグループの設定をセキュリティグループ ID 昇順に記載しています。

No. 1 sg-xxxxxxxxxxxxxxxx	
セキュリティグループ ID	sg-xxxxxxxxxxxxxxxx
セキュリティグループ名	launch-wizard-x
説明	launch-wizard-x created 20YY-MM-DD-hh:mm:ss.fff+09:00
VPC ID	vpc-xxxxxxx
所有者 ID	XXXXXXXXXXXX

インバウンドルール				
No.	プロトコル	ポート範囲 / ICMP タイプとコード	ソース	説明
1	icmpv6	すべて	xxx.xxx.xxx.xxx/xx	
2	icmpv6	すべて	::/x	
3	tcp	53	::/x	
4	tcp	80	xxx.xxx.xxx.xxx/xx	
5	tcp	80	::/x	
6	tcp	443	xxx.xxx.xxx.xxx/xx	
7	tcp	443	::/x	
8	tcp	3389	xxx.xxx.xxx.xxx/xx	
9	tcp	3389	::/x	
10	udp	53	::/x	

アウトバウンドルール				
No.	プロトコル	ポート範囲 / ICMP タイプとコード	送信先	説明
1	すべて		xxx.xxx.xxx.xxx/xx	
2	すべて		::/x	

タグ		
No.	Key	Value
1	Name	Ipv6用

7. S3 バケット

Amazon S3 バケットの設定を名前の昇順に記載しています。

No. 1 01-ssda-report	
リージョン	Asia Pacific (Tokyo)
名前	01-ssda-report

バケットのバージョンニング	
バケットのバージョンニング	Enabled
Multi-Factor Authentication (MFA) の削除	False

タグ		
No.	キー	値
1	0	
2	KeyStart	ValueStar
3	SayKey	SayValue01
4	SayKey2	SayValue02

デフォルトの暗号化	
暗号化キータイプ	AWS Key Management Service キー (SSE-KMS)
AWS KMS キー	arn:aws:kms:ap-northeast-x:XXXXXXXXXXXX:alias/aws/s3
バケットキー	True

Intelligent-Tiering Archive 設定
Intelligent-Tiering Archive 設定を設定名昇順に記載しています。

No. 1 SayArchive	
設定名	SayArchive
ステータス	Enabled
Archive Access 階層に移行するまでの日数	90
Deep Archive Access 階層に移行するまでの日数	

スコープ	
次のプレフィックス、またはオブジェクトタグのフィルター設定によりこの設定の範囲を制限します。 いずれのフィルターも設定していない場合は、バケット内のすべてのオブジェクトに適用されます。	
プレフィックス	
プレフィックス	ssda-say-prefix

オブジェクトタグ		
No.	キー	値
1	SayArchive1	SayValue
2	SayArchive2	SayValue2

サーバーアクセスのログ記録	
ターゲットバケット	01-ssda-say
ターゲットプレフィックス	Say-prefix

イベント通知 - Lambda 関数
イベント発行の送信先が Lambda 関数のイベント通知設定をイベント名昇順に記載しています。

No. 1 Event	
イベント名	Event01
Lambda 関数 (ARN)	arn:aws:lambda:ap-northeast-x:XXXXXXXXXXXX:function:Say
プレフィックス	SayPrefix, SayPrefix2
サフィックス	SaySufix
イベントタイプ	s3:IntelligentTiering
	s3:LifecycleExpiration:DeleteMarkerCreated
	s3:LifecycleTransition
	s3:ObjectCreated:*
	s3:ObjectRemoved:Delete
	s3:ObjectRestore:Post
	s3:ObjectTagging:Delete
	s3:Replication:OperationReplicatedAfterThreshold

イベント通知 - SNS トピック
イベント発行の送信先が SNS トピックのイベント通知設定をイベント名昇順に記載しています。

No. 1 SayEvent_Topic01	
イベント名	SayEvent_Topic01
SNS トピック (ARN)	arn:aws:sns:ap-northeast-x:XXXXXXXXXXXX:SSDA-say2
プレフィックス	Say/
サフィックス	.Say
イベントタイプ	s3:ObjectCreated:*
	s3:ObjectRemoved:*
	s3:ObjectRestore:Completed

イベント通知 - SQS キュー

イベント発行の送信先が SQS キューのイベント通知設定をイベント名昇順に記載しています。

No. 1 SayEvent_Que01	
イベント名	SayEvent_Que01
SQS キュー (ARN)	arn:aws:sqs:ap-northeast-x:XXXXXXXXXXXX:SSDA-say-Queue
プレフィックス	
サフィックス	.Say_que
イベントタイプ	s3:ObjectCreated:Put
	s3:ObjectRemoved:*
	s3:ObjectTagging:Put

Amazon EventBridge

このバケット内のすべてのイベントについて Amazon EventBridge に通知を送信する	True
--	------

Transfer Acceleration

Transfer Acceleration	無効
-----------------------	----

オブジェクトロック

オブジェクトロック	無効
デフォルトの保持モード	
デフォルトの保持期間	

リクエスト支払い

リクエスト支払い	有効
----------	----

静的ウェブサイトホスティング

ホスティングタイプ	静的ウェブサイトをホストする
ホスト名 (リダイレクト先のバケット、またはドメイン)	
プロトコル	
インデックスドキュメント	index.html
エラードキュメント	error.html

リダイレクトルール

静的ウェブサイトホスティングで設定したリダイレクトルールを記載しています。

No. 1	
Condition	
HttpErrorCodeReturnedEquals	404
KeyPrefixEquals	
Redirect	
HostName	ec2-xx-xx-xx-xx.compute-1.amazonaws.com
HttpRedirectCode	
Protocol	https
ReplaceKeyPrefixWith	report-404/
ReplaceKeyWith	

ブロックパブリックアクセス (バケット設定)

新しいアクセスコントロールリスト (ACL) を介して付与されたバケットとオブジェクトへのパブリックアクセスをブロックする	True
---	------





最小オブジェクトサイズ (bytes)	XXXXXXX
最大オブジェクトサイズ (bytes)	XXXXXXXXXX

ライフサイクルルールのアクション

オブジェクトの現行バージョンをストレージクラス間で移行する

ストレージクラスの移行	オブジェクト作成後の日数

現行バージョンではないオブジェクトをストレージクラス間で移行する

ストレージクラスの移行	オブジェクトが現行バージョンでなくなっ た日数	保持する新しいバージョンの 数

オブジェクトの現行バージョンの有効期限が切れる

オブジェクト作成後の日数	100
--------------	-----

オブジェクトの非現行バージョンを完全に削除

オブジェクトが現行バージョンでなくなっ た日数	保持する新しいバージョンの 数
160	60

レプリケーションルール

レプリケーションの構成設定

IAM ロール	arn:aws:iam::XXXXXXXXXXXX:role/service-role/s3crr_role_for_mt-ssdaSay1
---------	--

レプリケーションルール

レプリケーションルールの設定を優先順位昇順に記載しています。

No. 1 SayReplication

レプリケーションルール名	SayReplication
ステータス	Disabled
優先順位	0

スコープ

次のプレフィックス、またはタグのフィルター設定によりこの設定の範囲を制限します。  
いずれのフィルターも設定していない場合は、バケット内のすべてのオブジェクトに適用されます。

プレフィックス

プレフィックス	
---------	--

タグ

No.	キー	値
1		

送信先

送信先バケット	AWS アカウント ID (未設 定の場合は、送信元バ ケットと同じアカウント)	
	バケット (ARN)	arn:aws:s3:::01-ssda-say
オブジェクト所有者を送信先バケット所有者 に変更		

暗号化

AWS KMS キー ARN	arn:aws:kms:ap-northeast-x:XXXXXXXXXXXX:alias/aws/s3
----------------	--

送信先ストレージクラス

ストレージクラス	Glacier Flexible Retrieval (旧 Glacier)
----------	--

追加のレプリケーションオプション

レプリケーション時間のコントロール (RTC)	Disabled
レプリケーションメトリクスと通知	Disabled
削除マーカーのレプリケーション	Enabled
レプリカ変更の同期	Disabled

インベントリ設定

インベントリ設定をインベントリ設定名昇順に記載しています。

No. 1 SayInventoryConfiguration.-\_01

インベントリ設定名		SayInventoryConfiguration.-_01
インベントリスコープ		
プレフィックス		myprefix
オブジェクトのバージョン		すべてのバージョンを含める
レポートの詳細		
送信先バケット	AWS アカウント ID	XXXXXXXXXXXX
	バケット (ARN)	arn:aws:s3:::01-ssda-report
頻度		Weekly
出力形式		Apache ORC
有効		False
サーバー側の暗号化		
暗号化キータイプ		SSES3
AWS KMS キー ARN		
追加のメタデータフィールド (有効化されたメタデータ)		
オブジェクト: サイズ		
オブジェクト: バケットキーのステータス		
オブジェクト: マルチパートアップロード		
オブジェクト: レプリケーションステータス		
オブジェクト: 暗号化		
オブジェクト: 最終更新日時		
オブジェクトロック: リーガルホールドステータス		
オブジェクトロック: 日付までの保持期間		
オブジェクトロック: 保持モード		
ストレージクラス: インテリジェントな階層化: アクセス階層		
ストレージクラス: ストレージクラス		
データ整合性: ETag		
データ整合性: 追加のチェックサム関数		